

指定管理業務評価表

施設名	小牧市第1老人福祉センター（野口の郷）		
対象年度	27年度	評価担当部	健康福祉部
指定管理者名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ		
指定期間	平成26年4月1日～平成30年3月31日		
職員体制	常勤職員2人、非常勤職員4人		

1. 利用実績

(1) 利用者数 計 70,812 人（前年度比 約 97%）

前年度利用者数 72,993 人

4月	5月	6月	7月	8月	9月
6,350 人	5,670 人	6,218 人	6,494 人	5,925 人	5,537 人
10月	11月	12月	1月	2月	3月
6,031 人	5,458 人	5,327 人	5,485 人	5,997 人	6,320 人

(2) 増減要因

年間の利用者数は、26年度と比較して個人利用者が1,988人、団体利用者が193人の減少となっており、1日に換算すると約7人の減少となった。その要因として、個人利用者は、位置的に以前から自家用車での来館が多く、近年のさらなる高齢化に伴い自家用車の運転が困難となったこと、また団体利用者は、団体（老人クラブ）への加入者の減少や活動停止等の影響があると考えられる。

2. 利用者アンケートの結果

実施期間	平成27年9月28日～10月3日	回答数	414 枚
利用者の 主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の対応について好感が持てる。 ・ 受付に職員が不在の時がある。 		
具体的な 対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も利用者に喜んで頂ける様対応に努める。 ・ 連絡調整を行い、常時対応できるよう努める。 		

3. 収支の実績

(単位：円)

		26年度 (前年決算額)	27年度 (現年決算額)	28年度 (翌年予算額)	備考 (主な内訳、増減要因)
収 入	指定管理料	48,500,000	49,200,000	48,700,000	
	事業収入	27,090	24,632	0	
	合計	48,527,090	49,224,632	48,700,000	
支 出	人件費	17,670,637	19,358,364	21,054,000	
	報償費	1,670,623	1,635,321	1,633,000	
	旅費	51,932	159,042	55,000	交通費
	需用費	8,168,331	8,360,868	9,058,000	消耗品費・水光熱費等
	役務費	309,696	333,813	361,000	通信運搬費・手数料等
	委託費	10,469,779	10,379,319	10,628,000	送迎費・保守管理費等
	その他	5,530,231	5,574,590	5,911,000	借上料・保険料等
	合計	43,871,229	45,801,317	48,700,000	

4. 評価

項目	市の評価
運営業務	<ul style="list-style-type: none"> 市内の高齢者が、健康の増進、教養の向上、レクリエーション、各種相談の場として、施設を利用できるように、入浴、運動機能回復訓練、文化教室、健康・生活相談等のサービスを提供している。また、野口の郷だよりを発行し、施設の周知をするとともに運営に対する理解を深めていただくことができている。
維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> 施設・設備の点検を確実に行うとともに、報告書を作成して、関係各機関へ提出している。 機器や備品の取扱説明書は棚に設置されており、トラブル時には、すぐに確認できるように整理されている。
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> 新年、節分等に折々の催しを開催し、幅広い年代の方に来館していただくことができ、施設への理解を深めることができている。 また、ワークス運動機能アップ教室を開催し、健康維持の推進に努めている。
サービスの質	<ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケートや日常における利用者の意見などにより、ニーズを把握し、サービスの質の向上に努めている。 卓球台の利用方法について利用者懇談会を開催し、利用者の意見を取り入れたうえで、適正かつ平等に利用できるよう努めている。
収支状況及び経費節減	<ul style="list-style-type: none"> 電気の使用については、使用状況をモニターで確認しながら、適切に管理し節電に取り組んでいる。

<p>その他 (緊急時の対応等)</p>	<ul style="list-style-type: none">・監視カメラ等にて安全対策が行われている。非常時の行動マニュアルも作成され、避難訓練が年2回行われている。・非常時の連絡網も作成されているが、スタッフがすぐに確認できるよう掲示しておくなどの方法も検討したほうがよいと考える。
--------------------------	---